



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

国営農地再編整備事業

やまもと
「山元地区」

基礎資料



【受益地内の風景】

平成22年8月

東北農政局

～ 目 次 ～

I	事業概要	
	1. 事業の背景と目的	・・・ 1
	2. 事業の概要	・・・ 3
	3. 概要図	・・・ 4
II	評価結果	
	1. 社会経済情勢の変化	・・・ 7
	2. 事業により整備された施設の管理状況	・・・ 17
	3. 費用対効果分析の算定基礎となった 要因の変化	・・・ 24
	4. 事業効果の発現状況	・・・ 32
	5. 事業実施による環境の変化	・・・ 63
	6. 今後の課題等	・・・ 64
	7. 総合評価	・・・ 65
III	評価に当たって	・・・ 67

I 事業概要

1. 事業の背景と目的

(1) 事業の背景

本地区は、宮城県の南東部にあって福島県境に位置し、太平洋沿岸に展開する標高2～40mの農業地帯である。

気候は、年平均降水量が約1,250mm、平均気温が約12℃と宮城県内では比較的温暖な地域である。



位置図



事業実施前の受益地の状況

本地域の農業は、経営規模が小さな上、分散した所有形態となっており、ほ場は未整備若しくは昭和30年代に整備された小区画がほとんどで、地形条件とも相まって湿田も多いことから、農業の近代化が図られないまま生産性の低い農業経営を余儀なくされ、地域内の未整備及び小区画の水田、畑の整備による優良農地の確保とともに農業生産性の向上を図ることが求められていた。

(2) 事業の目的

このため、本事業では、既耕地等を再編整備する区画整理と水田の地目変換による開畑を一体的に施行し、農地の集団化による効率的な土地利用並びに労働生産性の高い農業経営が可能な生産基盤を形成する。

また、水田においては、担い手農家への農地の利用集積による経営規模の拡大と経営の合理化を図り、畑においては施設園芸の集団化による高生産性農業を確立するとともに、公共施設用地等への計画的な用地を創設する等土地利用の整序化を通じ、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資するものである。



事業実施後の受益地の状況



整備されたほ場での転作大豆の作付状況

2. 事業の概要

(1) 当該事業（国営農地再編整備事業）

項目	事後評価時点(H20) 注1)	事業計画(H13)
① 地区名	山元	同左
② 関係市町	宮城県亶理郡山元町（1町）	同左
③ 事業費	13,684 百万円 注2)	13,700 百万円
④ 工事期間	平成7年度～平成15年度	同左
⑤ 完了公告年月日	平成16年6月16日	
⑥ 受益面積	638ha	同左
⑦ 受益戸数	980戸	1,120戸
⑧ 主要工事	区画整理 632ha 農地造成 6ha 排水路 6.2km 幹線道路 2.4km 支線道路 74.8km	区画整理 同左 農地造成 同左 排水路 6.5km 幹線道路 2.5km 支線道路 77.4km

(2) 関連事業

項目	事後評価時点(H20)	事業計画(H13)
① 事業名 及び 受益面積	ア、国営かんがい排水事業「亶理・山元地区」 3,993ha（410ha）注3） イ、県営かんがい排水事業「牛橋地区」 261ha（89ha）注4）	同左 4,080ha（410ha）注5） 同左 373ha（89ha）注5）
② 進捗率	75% 注6)	—

注1) 当該事業の事後評価時点における事業概要

は、平成20年時点の数値

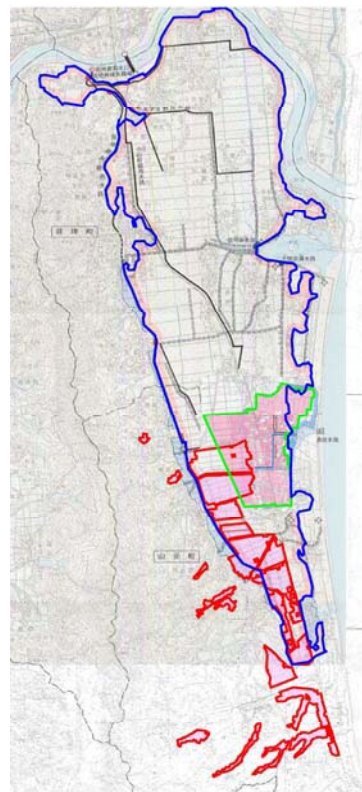
注2) 事業費13,684百万円は、事業完了時点(H15)の決算額

注3) 関連事業の受益面積について、()は当該事業と重複する面積

注4) 事後評価時点(H20)の関連事業の受益面積は、県営かんがい排水事業「牛橋地区」変更計画書(H22)における計画面積

注5) 事業計画(H13)の関連事業の受益面積は、国営農地再編整備事業「山元地区」変更計画書(H13)における計画面積

注6) 進捗率はH20迄の支出済事業費を計画事業費で除して100を乗じた値



凡例

- 当該事業
- 関連事業(国営)
- 関連事業(県営)

当該事業及び関連事業の施工区域